

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援テラスぽらあの		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2026年3月19日		2026年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・少人数体制を活かし、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな支援を共有して行っている。	・個別支援計画に基づき、日々の様子を丁寧に把握しながら柔軟に支援内容を調整している。	・支援記録の共有方法を工夫し、非常勤職員を含めた支援の統一性向上を図る。
2	・開所一年目であることから、職員間で相談しやすく、柔軟に支援内容を見直せる体制がある。	・日々の引継ぎや声掛けを通して、職員間で情報共有を図っている。	・定期的なミーティングの機会を設け、支援方針の共通理解をより深める。
3	・保護者との距離が近く、日々の様子を丁寧に伝え合える関係性を築きやすい。	・日々のサービス提供記録に写真を入れ、お子さんの様子を活動の趣旨なども含め具体的に伝えている。	・面談や相談機会を充実させ、保護者支援の質の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の勤務状況により、情報共有を全体で行うことが難しい。	・勤務時間帯の違いや短時間勤務により、全職員での共有の機会が限られているため。	・引継ぎ方法や記録の見える化、要点をまとめた資料配布により、共有の質を高める。
2	・保護者参加型(兄弟参加・グループ)などの取り組みが十分に実施できていない。	・就労している保護者が多く。送迎も園から園への対応が中心であることから、参加型行事の設定が難しい状況があるため。	・保護者の負担に配慮しつつ、オンライン形式や短時間で参加可能な研修や講演会などの案内などを検討していく。
3	・災害時の対応や避難方法について、保護者への周知が十分とは言えない。	・周知方法が入所時の簡単な口頭説明に限られており、保護者への伝達が十分に行き届いていない。	・災害時対応や避難場所などについて、文書配布などわかりやすい方法で保護者への周知を強化する。